

彝用聞書

自廿五
至廿七

書法叢集

香外書局

和書門類	一五五四號	二九〇函架	二一冊
------	-------	-------	-----

內閣文庫	和書類	五五四號	二一冊	二九〇函架
------	-----	------	-----	-------

內閣文庫	番號	和 15544
	冊數	21 (11)
	函號	198 182



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

改正群用圖書卷第二十五

淺草文庫

一 日光山東叡山經中山遷宮事

附就法隆寺遷宮并二月崇仰

屋切牛書狀事

一 紅葉山御齋僧時法皇奉書御信

近皇觸狀御信事

附御齋僧時法皇書狀事

一 御佛殿下法皇時書狀事

一 日光御齋僧時書狀事

一 御進宮時法皇御齋僧經光

之事

一 東叡山日光山紅葉山御齋僧殿

法皇御齋僧事 正遷宮御遷葬事

神呪之書凡之事

附神皇正統記卷之七

書凡之事

一神皇正統記卷之七

一神皇正統記卷之七

日光山御遷宮事

御遷宮事

附神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

一神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

神皇正統記卷之七

修之香紙は儀礼中十日毎に一輪
由緒多きは此の如し
御並に御供物等も御事奉合
り合ふ

伊弉
今御中

一巻改修古本御山依

御宮法中具法成所奉七心遷
宮之御事は自為

御神前御供物自源奉給之度好
心儀と申す所奉事なり

了御儀と申す所奉事なり
り合ふ

想へて御神の御事奉事法中御供

是に由りて奉事之宗事は御神然
御神前御供物なり
之に由りて奉事之宗事は御神然
御神前御供物なり
此の如し

目録之圖

奉獻上

御太刀 一振

御馬 一匹黄金拾枚

以上

苗氏友
宗事

古事記
古事記

又奉事之宗事は御神然
古事記六雄劔一柄
龍蹄一匹神馬一匹

古事記六雄劔一柄
古事記六雄劔一柄

右の御儀は二年前より御供物等御神前
奉事は是の如しなり

續前...

一第...

公方... 中... 政...

月日

...

...

...

公方... 斗王...

...

...

...

...

信少... 又... 少... 信...

申中... 申...

申... 申...

申... 申...

一節反

二節反

三節反

御奉書... 御見... 申...

御社... 御...

御... 御...

月日

一節

二節

三節

申... 申...

申... 申...

申... 申...

申... 申...

保料... 保...

井... 井...

申... 申...

申... 申...

申... 申...

申... 申...

申... 申...

申... 申...

此係有公的平之日所分受也故也
中事也名是也揚也之也後也
心也

一部反
二部反

的母也。就信也。御社也。御
信也。御信也。御信也。御信也。
而也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。

充也
心也

一也。御信也。御信也。御信也。
心也。御信也。御信也。御信也。

御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。

御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。

御信也。御信也。御信也。御信也。

日光山也。御信也。御信也。御信也。
一也。御信也。御信也。御信也。
大猷院也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。
御信也。御信也。御信也。御信也。

至境之程傳之書官上志之督

修學院書

書席下

七條中月之校所名之文字

一第之修達山院

山院

大猷院植書山院月例年修達山
御佛殿 第一宿修書之山院
書席下修達山院書席下

修學院書

山院

修學院之修達山院月例年修達山
御佛殿 第一宿修書之山院
書席下修達山院書席下

中ノ書六條

羊箱之書通下之修首

標於修書

山院

書席下

山院

羊箱之書通下之修首
石室修書

仙都院書

山院

書席下

山院

右進之書

日光山御修書

宣文之書修首御修書

一第之修達山院書席下

大猷臨錄十面河心於日光出處合

此物以心修之

公方極修陽山... 御書

治中既出知... 且念目如及... 成

生... 者... 際... 言... 之... 香... 在... 且... 意... 記

一

一筆波... 始... 亦... 為... 自... 光... 沖... 瀟... 瀟... 事... 言...

一筆波... 沖... 進... 及... 之... 亦... 知... 法... 漸... 漸... 能...

沖... 及... 事... 之... 亦... 沖... 極... 醉... 乃... 也... 乃... 是...

竊... 之... 亦... 在... 以... 何... 之... 亦... 亦... 亦... 亦...

一筆波... 始... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

公... 方... 極... 修... 陽... 山... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

目... 及... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

此... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一筆波... 始... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

公方釋送中 御書傳書之地
御書所書御書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地

皇中 御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地

御書所書傳書之地

一 御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地

一 御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地
御書所書傳書之地

之通者之... 御前
其教り云

或借事... 御前
御前
御前
御前
御前
御前
御前

今夜日光... 御前
御前
御前
御前
御前

二月十日

松平和泉守

御進者... 御前

行月友

其為一様也

一由中入... 御前

台儀院殿... 御前

分経... 御前

吉前... 御前

又吉前

苗氏友友

湯書... 御前

右儀院殿... 御前

少船徑山德信坊之別海
高者如喜相律信之德運一決
宜秋思心之始之

平川海。

如月友 他坊友

大正庚辰

為

古德院殿十七面之御進言法華經
一部進言西島海御釋教寺
三所紙於存上

大正庚辰

為

古德院殿廿二年之御進言法華經
一部進言西島海御釋教寺
三所紙於存上

高者如喜相律信之德運一決

苗氏友友

東嶽山日光山經書山本

御進言法華經廿二年之德運

宮御進言法華經廿二年之德運

御進言法華經廿二年之德運

如月友友

一學乃德信之友及經書也

御進言法華經廿二年之德運

宮門十六日 御進言法華經廿二年之德運

能者如喜相律信之德運一決

水之如喜相律信之德運一決

高者如喜相律信之德運一決

一、兼改修古寺及紅毛山

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

宣旨中云、御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

一、兼改修古寺及紅毛山

御官廳

大藏院所屬古寺及紅毛山遷正

宣旨中云、大藏院所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

大藏院所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

御官廳所屬古寺及紅毛山遷正

奉獻上

雄劔 一振

龍蹄 一匹 黄金拾兩

以上

若見 御宮 諸上 之 御也

御劔 一柄 一振 龍蹄 一匹

奉獻上

御太刀 一振

白銀 拾兩

以上

若見 御宮 諸上 之 御也

御劔 一柄 一振

獻上

白銀 拾兩

以上

若見 御宮 諸上 之 御也

御劔 一柄 一振

獻上

二百匹

以上

右の御 氷川 諸上 之 御也
若見 御宮 諸上 之 御也
若見 御宮 諸上 之 御也

若見 御宮 諸上 之 御也

奉獻上

御太刀 一振 行平

御馬 一匹 鶏乞

以上

右より一柄は建三郎の御物也
斗より進一柄は龍蹄の御物
一柄は建三郎の御物

六刀箱之書

奉納
雄劔

一柄 行光
松永伊賀守源長次

御劔一振も御書もさき戸書
位者もその分は両子一一目書
日名も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書
此子年号も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書

新氣調御書

人自中亦代御書もさき戸書
名書も御書もさき戸書
神書も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書
人自中亦代御書もさき戸書
名書も御書もさき戸書
神書も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書
天竺の水火毒毒も水も御書
人自中亦代御書もさき戸書
名書も御書もさき戸書
神書も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書
代西觀之法也も御書もさき戸書
名書も御書もさき戸書
神書も御書もさき戸書
さき戸書も御書もさき戸書

後令... 拍... 後中... 自承... 漢... 武... 小... 在... 弘... 之... 黑... 之... 少...

七社起請文之事

是... 少...

敬白奉驚七社起請文前書之事

- 一何... 一何... 一何...

右此内雖為一事存曲折令違犯者

祓左無名指血盟

梵天帝釋四大天王物而日本國中六十餘州大小神祇別而此一紙愛岩山大權現部類眷屬神罰冥罰於銘之可罷蒙者也仍起請文如件

文明二年十月廿日加藤波節姓昌光奉判

二右無名指血

藤之淨子在判
伊東武藏守姓重義判

梵天帝親四天王惣而日本國中卒
余州大小神祇別而此一紙醍醐山被
放三寶加護可請五大堂呵責者也
仍起請文如件

年号月日

何

在判

三舌之血

梵天帝親四天王惣而日本國中六
十餘州大小神祇別而此一紙富夫權現

何

御罰可罷蒙者也仍起請文如件

年号月日

三判

四頂之血

梵天帝親四天王惣而日本六十餘州
大小神祇別而此一紙大峯大權現御罰
可罷蒙者也起請文如件

年号月日

三判

五左之足指血

梵天帝親四天王惣而日本六十餘州
大小神祇別而此一紙大峯大權現御罰
可罷蒙者也起請文如件

年号月日

年号月日

三判

六右足之指血

梵天帝怒天天王怒而日本全九州大神祇
別而壯一紙四維八方遊行今日番神
御討可罷蒙者也仍起請文如件

年号了月日

三判

七馬堂千之血

林凡天帝怒天天王怒而日本全九州大神祇
別而壯一紙江州中堂釈迦如來後世
無間業雖經多劫可請苦患者也
仍起請文如件

年号了月日

三判

靈社起請之事

敬白奉敬馬靈社上卷起請入前書事

一何事

一何事

一何事

右雖為事於違犯者

日本國六十余州大小神祇御討可
罷蒙來世者無間地獄沉當來者
矢弓矢冥加永請百病厚茂世靈社
之御討可子罷蒙者也仍起請文
如件

慶長二年九月三日

在判

在判

現世事入元之起信也

常々酒之日本之因承之也
之常也書出

起信文書

敬白奉發起信文書

敬白奉請起信文書

敬白起信文書

再校

制札事

禁制

攝津國河部

一 軍勢由人監妨糧精事

一 代採竹木事 付前草事

一 非合課役事

右條監令信止 元若者違犯軍志

速可慮嚴科 若是仍不詳
首所被信如仍詳

本年八月日

信濃源朝信判

丹波守平朝信判

播磨守源朝信判

右行書 右、右判
九、奉行書

禁制

一 軍機中ノ人爲亂入帳籍事

一 帳簿採折本事

一 相懸非分課役事

右條ノ密被信口流若者有

違背ノ族々急可重嚴科由

依江批違抄

年号月日

信濃守判

一 在江ノ時軍機上書ハ清口有財ハ

尚且軍機上事ヲ加

一 所付ノ事其國在ノ國ヲ不書

地圖上在ノ國ヲ書入也并禁制通

ヲ違抄九ノヨセテ電ヲ之

一 年号ノ書亦也如別紙紙書下

一 擬ノ事

天下ノ政事下箱定事ヲ以テ書ハ

恒重ノ少ノ字ニテ後ノ述及

替事ヲ紙書付テ家ノ事ナリ

神前佛前共外事依テ若ハ

板ニテ亦書ク

一 啓書事

從書以所事始名義以諸人紙

ニノ事ヲ書ニ密押付定也啓ハ

啓書

一 博奕一切信口

一 野合ニ心ノ事見聞ニ可

中ノ事

一 有思遺子而財石依仁不背

抄紙付年号 年字十二

一 板書板紙の厚大形に條凡

定法也付書に各別如給上も教條

三板七半時度不音横板モ之徳

一 禁制禁止制令也類別制札押下テ

書之其教中人の札ヲ以テ令ヲ知

中人來事ヲ為令教札書之類

打ッ

一 件百 者留事

件留制札高札十押下タル事

書中の後述有之留事の尚

座之及之者留タル也

一 高札事大方高買物付之度

抄紙に法善思ヲ採入之市町抄

申存分十一為忠節事仍

望書如件

天文十二年正月日

一 法度書事

大生禁制音類相親禁制

書ハ一篇制以音之法度書ハ是

非相急テ書中の依之制札ヨリ

恒更ニ書中の

一 条ノ書ノ事

定書ヨリ後事大用之尚在事

後述有之同及事ヲ事ヤ也

是時兩度十二道中者留タル也

但文跡ヨル也

一 条ノ教十二事

一色テ尚以尚座事ナラ端作
有ヘカラス是又取履ナニ者留
タルヘシ

太刀目録調様之事

進上	御太刀 一腰 國光	以上
	御馬 一疋 鶴毛	
		林飛驒守 正房

料紙一重
進上ヲ半字
下テ毛書

右ノ調様主人共外敬人ト外此

右等軍ヨリ上迄人ヨリ自迄
 等軍モ用之

名字官 上	御太刀 一腰 御馬 一疋	
----------	-----------------------	--

同一重

右主人ノ外敬方ノ儀

名字官 以上	御太刀 一腰 御馬 一疋	進上
-----------	-----------------------	----

料紙一重

右等軍用之
 右等軍用之
 右等軍用之

己	由子	沙若刀	
	一丈	一腰	

右同

右等軍

己	沙馬	沙若刀	
名字官	一丈	一腰	

右同

弓	一張	
馬	一匹	
以上		

是ヨリ下名
書紙十
料紙一

古少々棧架田樂又八家来

干トハ外也

御成時進上目錄調標

進上	御太刀	御弓	御征矢	御鎧	御馬	以上
	一腰 <small>白</small>	一張	一腰	一領 <small>糸也付</small>	一足 <small>栗毛下 在目錄 御鞍置</small>	
						吉見宮内大輔 吉盛

沙威時沙所友注書

及夜目錄翌日進物以目錄之也

調中如等輩此等時進上實名

ルルカラス沙字人付也

進上	白鳥	鴈	鯛	鱈	海月	已上
	一	一	一折	一折	三桶	

料紙一斗

名字宿
名乗

主人貴人並は調子桶入る奥書
 中務御所様より十奥也等軍付るハ
 名字宿中ノ進上下実名ヲ添へ進上ノ
 御目録上書事一モアリ

志ん上	白てり	たい	そり	さけ	ふか	いふ	い上
	一	一折	一折	二	一折	十	

名字宿
名乗

主人貴人女中ナトハ此等軍ナラ
 志ん上モ名乗モ指所字モハヘカラ

ス

一 江文認振之事

進上	一 飯子	一 唐布	一 大口	一 唐筵	一 丁子	以上
名字官 名字						

主人貴人如此ナリ等輩ハ進上モ

一 折紙調振之事

進上	万疋	以上
松田豊前守 助		

主人貴人如此ナリ等輩ナラ進上モ
實名モナシ

志人上

万八黄

己上

志人上
志人上

主人貴人ノ女中ニ於テ等輩ニ
志人上名系正一ノ下輩ハ

各字宿キ折紙ニ於テ只何カト
書但万疋ニ至テ百貫トナルキト事也
中古以来於テ又書状ニ摺同
摺眼青銅書岐ト事也

一 太力目録指目録注文折紙カ
摺同アル也

裏書ニ奉古ノ曾々ノ黄代奉
トニエタリ洋浪子一枚馬代ト必裏書
及事也裏書書摺カ以上
照ヲカケテ此ノ若裏書ノはカ

存馬代黄令之校
治政之序
何日
三月十日名字官判
名字官友

此書也

了

正一 馬

正一 御

紙三毛也

大高檀紙目深潤成平人者
料砂口位五位殿上人より用
捨る此之津書味酒後智五有
小川合春書校系等の思也

右二冊者東我久在東府南
家傳之書也依出紙中人結
授者也

久保在書

慶安元

十月日

正之

卷川傳來之書畧法通不圖傳
有白

此二冊者以常我尚社日記内係
在書中里所治之也努之有
他書者也

天和二

正月日

卷八奉親親

右往真書旨石出園外者也

元禄十五

十二月日

卷八奉親親

右 奥書旨可忘外身也

寶永二

九月日

卷八奉親親

改正鞆用圖書卷才二十六

朝鮮人來朝之次第 附錄法務事

一 從朝鮮國進高麗介上志略

附錄金成公書送

一 阿茶院和源志治等之狀并於白後

由書中檢出目錄附始人由事

一 就上使公進之對面書狀之事

附錄進出到志等狀之文

一 武家源流及公臣家後對事狀之事

一 身社方法法度書等由時之狀之文

一 於江戶使者之邊由數等法定付事

之事

一 物新料飛換之由仕在是之由也

之事 附錄酒造法定付事

一就本年改元書狀一事
一就東提督主死去書狀一事
一書并出信
之事

一南庄書法弱亦出法信

朝鮮人來朝之事

成曆元紀年朝鮮信使來朝時口史

一第... 西... 八月... 朝鮮... 信使... 來朝... 之事... 口史... 自然... 遭... 風波... 雜... 事... 不... 何... 地... 上... 忘... 及... 兵... 節... 等... 事... 之... 事... 之... 事...

五月六日

一第... 改... 元... 書... 狀... 一... 事... 一... 就... 東... 提... 督... 主... 死... 去... 書... 狀... 一... 事... 一... 書... 并... 出... 信... 之... 事... 一... 南... 庄... 書... 法... 弱... 亦... 出... 法... 信... 之... 事...

二月十五日令海航船又信使來朝
海濱尚八月初旬其地無恙
之波復滿之有相會者使也尚於
後書之時也

此狀之相見也後朝鮮國之方為之者
宛然其後之得來由使說之其際
二月十五日由帆之也其之信使
來朝之成海尚八月初旬尚地
事度之也其也取在也
之使及
上國山之也

一筆波信之也朝人未何也

半日辰刻於濃州故草浪并停
掃級以方業道這也其也
席書送之今十日未刻之國也
宿來女心方之其也後之也
為可也之其也其也其也
中合定也

二月一日之也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也

一筆波信也

公方探首國使成尚在也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也

不方散以首水知法在是日自友及成
古其山固為清行法者極其遠也
涉指者為之其現指法成也其言
了第以首類以書甲。合其山亦

口訣之披見

字極重以表其遠其言一其言
涉去或日胡解信使涉法十一其
法解法之涉其海其故涉極其言
古其山亦類以書甲。合其山亦
乃涉行法以涉其此指者之其言一
入其言其披其法其一其言一
之其言一
其言一

其言一朝鮮信使其地到其言一其言
其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一

從朝鮮國進其言一其言一其言一

附其言一其言一其言一

其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一
其言一其言一其言一其言一其言一

以状之被見之云云及次新解進言
涉海言其日見山嶽之烟燧貌
去十六日初言序言同日申刻傳
如和沙等傳出之同料亦云
中付之()
言雖少之傳

一筆及被之云云及被後海上
此令為之被次河果云云送之新傳
而河到味上日乘上刻信以海之
失事之河果何果之云云亦刻信云
一筆及被之云云及被後海上
皆以此之傳札初信亦云云

阿蘭陀和漢志記云云味果於其後
涉海中時被送月派時人云云

一筆及被之云云及被後海上
于江津村早津仲阿茶院和一艘打
又中付共九日引舟中付警團者余
長崎之送也之要人今月物之云云
風及海之波言引和信保切及被
水之出人備死以不陸死阿茶院云云
上連回音長崎之入津忠川其之傳
引及中付之然之自果院人打指代
亦之九之云云白派中及被之云云
如極之云云指代者中付水之歌分仕則
以中付之云云白派中及被之云云

水部... 長壽... 中... 田... 中...

水部... 長壽... 中... 田... 中... 水部... 長壽... 中... 田... 中...

田和并城下... 水部... 長壽... 中... 田... 中...

一... 水部... 長壽... 中... 田... 中... 水部... 長壽... 中... 田... 中...

水部... 長壽... 中... 田... 中... 水部... 長壽... 中... 田... 中...

陸奥州中山守兼十萬石入道正唐公
少子内膳藤原公好又其方辰和月路
之風也其別號也其後兼右衛門
取部入道正良及
上種公之母也

坑河守中山守兼院入道正唐公
月路也

小袖 十領

右向兼院入道正唐公
苗皮也

小袖 二領

右向兼院入道正唐公

院入道正唐公送道正兼
美入道兼中守人本古津之
右守兼院正唐公

院守中山王正唐公

白浪 何兩

屏風 何雙

衣 兼院守中山王被書也

月日

正唐公

越前綿 五百把

右中山王の御用也

月日 苗氏友

白浪 二百兩

苗氏友

今武王子

國次王子

右(中)の如く(中)の如く(中)の如く

上使道中道(中)時事(附)上(中)

書(中)付(書)札(中)

一筆致(中)の上(中)の如く(中)の如く

上使甲斐(中)又(中)在(中)在(中)重(中)方(中)以(中)其(中)中

紅(中)以(中)内(中)寺(中)并(中)中(中)有(中)統(中)之(中)由(中)而(中)而

子(中)弟(中)之(中)如(中)是(中)對(中)作(中)以(中)先(中)以

上(中)方(中)極(中)意(中)以(中)友(中)春(中)也(中)以(中)取(中)知(中)休(中)息

月(中)日(中)及(中)七(中)日(中)の(中)事(中)也(中)其(中)事(中)也(中)故(中)因(中)日

彼(中)地(中)如(中)何(中)事(中)以(中)心(中)以(中)足(中)為(中)之

中(中)以(中)其(中)好(中)札(中)也(中)其(中)事(中)也(中)其(中)事(中)也

此快之得是公此之也變其意
去其口端之言以內每百之幾
對作白文

上方操涉控臨往區中陽津
即振然之也目為友上好者
切之於又其書其後目之其
方和之也其終之也其也
之也

一筆致書亦令人驚

上使意松下信書後一以報日京
輕快即月也之也其也
翌二日在載於松余因海也

上言一教其後以復而水知法長
右使為下中一者松之也其也
上言物教禮之事也其後也其也

上使意松下信書後一以報日京

上言一教其後以復而水知法長
右使為下中一者松之也其也
上言物教禮之事也其後也其也
上言一教其後以復而水知法長
右使為下中一者松之也其也
上言物教禮之事也其後也其也

武學之法及書法也故 仁符

事試事

一、先考及後考

云云抑是法於國法也感而作此書

法者為國之師也

而法度者亦國政之本也

仰而法於國法也誠意重法也

乃其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

一、先考及後考

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

其目者亦法也其目者亦法也

此後凡月十日... 爲其... 沙信... 何... 一...

突如之快志... 數...

任...

一筆...

心... 目... 百...

法...

平...

出...

是...

快...

而...

中...

統...

法...

一...

由...

七...

或竟 内傳... 只收... 之

中札... 地... 其... 之...

一筆... 地... 中... 事...

年... 事

一筆... 地... 事...

統要... 事

一筆... 地... 事...

上意奉書公一初也

云其九日一初奉書公一初也
淨是公法也 因好按律書病免
一初也

上聞公受法表憐為 思公出意
莫加或能難有仕公不并是推為又
尚布一初也 此公法事
入意奉書公一初也
上意一初也 此公法事
一初也

尚書奉書公一初也

明廿八日 初月見一初也

長裕田月一初也

城春月一初也

唯廿八日 初月見一初也

長裕田月一初也

城春月一初也

幸均一初也

初月一初也

初月一初也

初月一初也

福平之威 由内閣中

已列取来一人

山城之官方我公之状

福平之状

内閣書月言已列取来一人

山城之官方我公之状

明云日涉往

作对言之状是也

上言出原刻之状

上言出原刻之状

上言出原刻之状

法書局之類改修之明云日涉往

作对言之状是也

山城之官方我公之状

上言出原刻之状

山城之官方我公之状

明云日涉往

山城之官方我公之状

上言出原刻之状

山城之官方我公之状

上言出原刻之状

山城之官方我公之状

山城之官方我公之状

菅原道行の事記の事
又我陸火也の事

菅原道行の事記の事
又我陸火也の事

明日は海軍の事

海軍の事記の事
城の事記

明日は海軍の事

海軍の事記の事

城の事記

月日

二席

二席

一席

一席及

二席及高橋

二席及

四席及尾

五席及

又

三席及

二席及

一席及

菅原道行の事記の事
城の事記

月日

苗代史

各年

此書は、苗代村の口史を採りて、
其の事蹟を一一記述す也

魚紙帳冊の次第

一 幅一寸八分 長一尺三寸五分

平人の帳冊也 一寸五分幅
一尺三寸五分

一 沙製紙平人の書は

幅一寸九分 自然ハ三寸五分

長一尺三寸五分 月一分と綴ク

一 沙製紙底筆の冊は

幅三寸 長一尺三寸五分の冊

右三史院の帳也

帳冊の取事、種々の類あり、
後冊ハ長三寸五分折て二つ折のよ、
字を二
筆と云ふ事あり、
七折のよ、
事あり、

一字りし等もいさゝか違ふところの書留
上の句の事あるところをさへし書留
字をいふ事あるところの句れある
りある
一字頭は後母の字より歌の字は本
往書し書し二つの一文字書し
書留たよ目一下の句も同様より
ま一上の句も書留一文字書し
二字歌の時に後母の字を分けて
歌を書き目の新の下の字を並べて
まか下の句も書留し二下の句
四か上めくまめく但実名するは
こいさう下の句の上めくたの
こいさう

古歌をいふ事あるところの書留
この書留は二文字歌も一字頭の
よの句りの句りもいさゝか書留よ
まめま守りまめま守り後母の字は
歌をいふ事あるところの書留よ
り一字りし等もいさゝか違ふ
後母の字は二文字書し
まめま守りまめま守り
いさゝか後母の字もいさゝか
よめま守りまめま守り
紙料もいさゝか
後母の字は二文字書し
まめま守りまめま守り
七文字

紙ハ

君久代はあまの乃孫

ゆきよふん松と書ぬ

いとわがやち年

族宿 けえんは本乃下陰成者と書け
あやらひのあやち年忠夜

材ぬれ紙と書ひぬ松の紙
きりりのかは秋乃夕年

取やのいも存子の秋事時一昔のこ

紙のと余く一昔を一回のこし出

乞界下のりかり事ハ一昔後若

大色紙の望守各 幅守各

小色紙の望守 幅守各

右三光院の信之傳を代書す法

不白し也

外紙の事表紙の中央ハ勅筆也

きりりハ紙の事也事外りハ紙

たの双紙の事ハ一色あり紙を及

よりあかまは紙の事ハ紙を及

より書むは紙の事ハ紙

書す事

年の初め筆を初めくしハ何れ

目か事ハ一昔ハ紙の事ハ紙

心紙の事ハ紙

寛文五年正月朔日 苗代

奉獻上 年徳神寶前

年徳神寶前

奉獻上 年徳神寶前啓 古卷

上巻上巻の〜内紙一重を紙一枚合
之ぬき紙を二張の積と云又子巻の
礼と云の紙を亦准々調紙以下は
〜の折方等と

色紙経冊等献物伏事

一 巻紙法に依りて建延寺に
所寄〜一巻紙法を為し以何某
以寄り入りて又出寄りて何某
ありて入りて寄りて出寄りて紙
経冊本を五冊と云一割り深

以寄りて〜何某に寄りて長山本

花巻寺大納殿

兼人御申

先書致済是の紙巻國書并書
目録及筆紙を先の巻紙を紙
経冊子〜紙深を紙深紙巻を紙
紙巻紙〜紙列の紙深紙巻中
紙巻紙〜紙列の紙深紙巻中
何某に寄りては紙巻紙巻紙
素

花巻寺大納殿

兼人御申

花巻初巻 花巻初巻

天子 仙洞より事... 筆
光る... 又
... 也

秋意形事

一筆... 秋意... 事... 也

馬丸書

系... 中

此... 秋意... 事... 也

鳥丸書

中... 後

初... 秋意... 事... 也

又ハ誠増徳の儀々々々彼人の御中
るくくくく又又書長くもやん
速分御借未日あり

云方家之相也

云方 昔年御儀云々 御儀云々御儀云々

古種 台関 御儀云々 御儀云々御儀云々

南上穂 言種 御儀云々 御儀云々御儀云々

出津 由成 御儀云々 御儀云々御儀云々

入法 由教 御儀云々 御儀云々御儀云々

行法 道 御儀云々 御儀云々御儀云々

御儀 御儀 御儀云々 御儀云々御儀云々

